

研究種別	重点化研究	
研究課題名	暑熱時における母豚の繁殖改善技術の開発	
研究期間	令和元年度 ~ 令和3年度	
	評価項目	平均点
1	研究計画の進捗度	4.0
[評価所見]		
<p>暑熱ストレスによる繁殖性の低下を、ファインバブル水とアスタキサンチンの投与により改善を図る内容となっている。</p> <p>ファインバブル水については、畜産現場での活用希望もあることから、科学的に再現性のあるデータを積み重ねて欲しい。</p> <p>残念ながら、現時点で本課題は明確な結果が得られていない。ただ、繁殖用母豚の試験は、長期的な取り組みが必要であり、今後の展開に期待する。</p>		

研究種別		
研究課題名	暑熱時における卵重増加のための栄養調整技術の開発	
研究期間	平成30年度 ~ 令和2年度	
	評価項目	平均点
1	研究計画の進捗度	4.2
[評価所見]		
<p>夏期に生じやすい破卵を抑え(過年度成果)、同時に飼料の工夫による卵重の増加を図る内容。</p> <p>今年度の試験では、飼料中のリジンとメチオニンを要求量の130%に設定することで卵重を増加させることに成功しており、想定以上に成果を挙げていると判断できる。</p> <p>次年度は2つのアミノ酸の代わりに魚粉を使うことを計画している。近年、魚粉の価格が高騰していること、逆にアミノ酸の価格は低めで安定していることを考えると、その時々状況に応じての使用を考えれば良いのではないかと。</p> <p>本課題では、その基礎となるデータを取得できるように期待する。</p>		